

コウノトリ文化館だより

ホームページやSNSでリアルタイムの情報を発信しています。



ヤマボウシ

5月のコウノトリ



5月、ヒナ達は食べ盛りの季節です。ふ化後一月あまりで、1羽が毎日1kgほどの餌(虫やカエル、魚など)を食べるので、親鳥は餌探しに大忙しです。親鳥の愛情をたくさんもらってヒナは成長していきます。

5月の郷公園



西ビオトープから観察広場をのぞくとフジの花が滝のように咲いているのが見られます。園内には様々な花が咲き、ビオトープではゲンゴロウ類やヤゴ、メダカなども見られます。いろいろな生き物を探しに来てください。

とよおかの生きもの 5月



ニホンアカガエルのオタマジャクシ：背中に二つの黒い点があるのが特徴です。そろそろ脚も生えてくる時期です。

5月に入ると気温もさらに上がってきて、夏日になることもあります。野山の緑も一層濃くなり、生き物の動きもさらに活発になります。



ツノホコリ：変形菌の中でも一番早い時期から発生します。高さ1~2mm。群生し純白が美しく目視で発見できます。



キュウリグサ：直径2mmの小さな花を咲かせる草です。葉をもむとキュウリの匂いがするのが名前の由来です。



ニホンカワトンボ：5月になると羽化し、姿を見るようになります。山沿いの小川、水路などの近くでよく見かけます。



キビタキ：綺麗な声でさえざる夏鳥です。英名には、黄色のスイセンを表す“Narcissus”という単語が入っています。



アユ：5月になると、アユの稚魚(稚鮎)が海から川へ上がってきます。今年は早くから上がってきているようです。

5月の行事

5月3日(日)
キ/コ・粘菌観察会

時間：13時00分～
参加費：無料
※要事前申込

5月5日(祝・火)
サウンドストーク
コンサート

時間：13時00分～
出演：豊岡総合高校吹奏楽部
近大豊岡軽音楽部
Imacoco band

5月10日(日)
コウノトリ野鳥観察会

時間：13時00分～
参加費：無料
※要事前申込

5月17日(日)
田んぼの学校
～春のビオトープ～

時間：9時30分～
参加費：子ども100円
当日参加可能



5月24日(日)
春の鶴見茶屋

時間：10時00分～
参加費：200円
実施：豊岡高校茶道部

5月24日(日)
植物観察会

時間：13時00分～
参加費：無料
※要事前申込

5月31日(日)
ビオトープをつくろう

時間：9時30分～
参加費：無料
※要事前申込

4月のトピックス

昆虫観察会 4/5

参加者20名 スタッフ2名

子ども10人を含む賑やかな観察会でした。公開ケージ周辺と東ビオトープを中心に回り、春の昆虫を観察しました。



オオセンチコガネやハナアブのほか、コツバメという青く美しいチョウや、成虫で越冬するトンボ、ホソミオツネトンボなど、13種類の昆虫が見つかりました。



コウノトリ野鳥観察会 4/12

参加者4名 スタッフ2名

樹々が芽吹き、萌黄の山に囲まれた園内を散策しました。まずはじめに、観察広場のコウノトリや、アオサギの巣を観察しました。

山頂あずまやから祥雲寺巣塔の子育ての様子を観察したり、東公開で様々な鳥を見たり声を聞きました。12種類の野鳥を確認しました。



田んぼの学校 4/19

参加者48名 スタッフ7名

あぜ道を歩きながらタンポポや春の花などを観察しました。葉のつき方を見たり、形に特徴がある植物を触ってみたいでした。

黄色いタンポポの他、白色のシロバナタンポポも見つかりました。見るだけでなく、スズメノテッポウを笛にして吹いてみましたが、みんなちよっと難しかったみたいです。



植物観察会 4/26

参加者6名 スタッフ2名

文化館周辺や近隣の田んぼ脇で観察しました。サギゴケやキュウリグサなど合計31種類の植物を見ました。



総苞片が中途半端に反り返った雑種タンポポと、ピタッとくっついた雑種ニセカントウタンポポを比べました。

豊岡市立コウノトリ文化館 (指定管理:NPO法人コウノトリ市民研究所)

開館時間／9:00～17:00 休館日／月曜日(祝日にあたるときはその翌日) 入館無料(環境協力金100円・任意)
〒668-0814 豊岡市祥雲寺127番地 TEL:0796-23-7750 FAX:0796-23-8005 <https://kounotoribunkakan.com>
コウノトリ文化館は兵庫県立コウノトリの郷公園内にある、豊岡市立の見学施設です。